

別府地獄というのは、その地の観光の根幹を形成する、別府市の北部に位置する七つの温泉である。山を登ってこれらの温泉に通ずる道では、地獄蒸しと呼ばれる食べ物を売る多くの店が並んでいる。地下の温泉から出る蒸気は野菜や肉を料理するのに使われる。最近では地元のレストランが蒸気を使って新しい食感を産みだしていて、それらは蒸した豚まんから蒸したプリンまでというようにあらゆるものが含まれる。地元では個人の風呂のため、そして冬には家を暖めるために温泉水を引き込む家庭も多くある。別府周辺の地域全体がその町の生活のあらゆる部分に浸透している温泉のおかげで存続している。